

- 問1 地球温暖化対策として、2020年以降の温室効果ガス排出削減など、気候変動問題に対応するための国際的な枠組みを何といいますか。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
1. ワシントン条約                      2. パリ協定                      3. ラムサール条約                      4. 京都議定書
- 問2 近年、消費者が各自で社会的な課題の解決を考慮したり、課題に取り組む事業者を応援したりしながら商品やサービスを選択する活動が目立っています。このような、人や社会、環境に配慮した消費行動を何と呼びますか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
1. 高度大衆消費                      2. ブランド志向の消費                      3. 衝動買い                      4. エシカル消費
- 問3 企業の責任や消費者の生活習慣が問われる中、資源を循環させる具体的な活動が普及しています。空になった洗剤の容器を捨てずに中身を詰め替えて再度利用したり、不用品をフリーマーケットやリサイクルショップで他人に譲ったりする活動に共通する、3Rの考え方はどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. リユース                      2. バイオマス                      3. リサイクル                      4. リデュース
- 問4 将来的にトラック運転手が20万人以上不足するという予測や、輸送1トンあたりの二酸化炭素排出量がトラックに比べて鉄道や船舶の方が大幅に少ないという現状を踏まえ、貨物輸送の手段を転換する取り組みが行われています。この取り組みの名称として正しいものを選びなさい。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. スマートグリッド                      2. カーボンオフセット                      3. モーダルシフト                      4. サプライチェーン
- 問5 水力発電が電力供給の大部分を占めるノルウェーなどの諸国と比較して、日本の電源構成にはどのような特徴がありますか。現在の日本の状況を説明したものとして正しいものを選びなさい。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 石炭、石油、天然ガスを用いた火力発電が、全体の約8割を占めている                      2. 原子力発電が基幹エネルギーとして、全体の約半数を占めている                      3. 山地が多い地形を活かした水力発電が、全電力の約8割を供給している                      4. 太陽光や風力などの再生可能エネルギーだけで、必要な電力のほとんどをまかなっている
- 問6 「持続可能な消費」を実現するためのエシカル消費の具体的な事例として、最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 富山県公立入試 類似)
1. 個人の満足度を高めるため、社会的背景に関わらず自分が最も有名だと思うブランド品を収集する。                      2. 利便性を最優先し、過剰な包装がなされた商品を日常的に使い捨てにする。                      3. 途上国の生産者の生活を守るため、適正な価格で取引されたフェアトレード商品を購入する。                      4. 経済を活性化させるため、流行に合わせて安価な衣類を大量に購入し、頻繁に買い替える。
- 問7 太陽光や風力などの再生可能エネルギーは、地球温暖化対策の切り札として期待されています。これらのエネルギー資源を利用した発電に共通する、利点と課題について述べた説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 発電時に二酸化炭素を排出するという課題があるが、自然条件の影響を全く受けないため、電力の自給率を大幅に高められる利点がある。                      2. 発電時に二酸化炭素を排出するという課題があるが、燃料が安価であるため、天候に関わらず安定した電力供給が可能であるという利点がある。                      3. 発電時に二酸化炭素を排出しないという利点があるが、電力の供給が天候などの自然条件に左右されやすく不安定であるという課題がある。                      4. 発電時に二酸化炭素を排出しないという利点があるが、電力の需要に合わせて発電量を柔軟に調節することが容易であるという課題がある。
- 問8 1992年にリオデジャネイロで開催された地球サミットや、1997年に採択された京都議定書の流れを汲み、2015年の第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）において、新たに採択された国際的な合意の名称を選びなさい。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. ウィーン条約                      2. ワシントン条約                      3. パリ協定                      4. ラムサール条約
- 問9 日本の海岸線から一定の距離まで設定されている海域のうち、沿岸から12海里までの「領海」の外側に位置し、基線から200海里（約370km）までの範囲で、沿岸国が水産資源や海底にある鉱産資源の調査・開発を独占的に行う権利を持つ海域の名称を答えなさい。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
1. 公海                      2. 排他的経済水域                      3. 領海                      4. 接続水域
- 問10 地球環境問題への対策の一つである「排出量取引」の仕組みを説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. 国ごとに温室効果ガスの排出枠（目標）を定め、その過不足分を国同士で売買する仕組み                      2. 太陽光や風力などの再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で買い取る仕組み                      3. 森林による二酸化炭素の吸収量などをポイント化し、資金提供によって埋め合わせる仕組み                      4. 二酸化炭素を排出する石油や石炭などの化石燃料の使用に対して、国が税金を課す仕組み
- 問11 1997年に採択された京都議定書に関する説明として、その仕組みや当時の状況を踏まえて最も適切なものはどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 湿地の保全とその中に生息する動植物の保護を目的として、国際的な協力体制を築いた。                      2. 先進国に対して、温室効果ガスの削減に向けた具体的な数値目標を割り当てて義務づけた。                      3. 開発途上国を含むすべての国に対し、経済発展を優先させない一律の排出制限を義務づけた。                      4. 絶滅のおそれのある野生動植物を保護するため、国境を越えた取引を厳しく規制した。
- 問12 石油、石炭、天然ガスのように、大昔の動植物の遺骸が地中で長い年月をかけて変化し、エネルギー源として利用されている資源を総称して何と呼びますか。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
1. 鉱産資源                      2. 再生可能エネルギー                      3. バイオ燃料                      4. 化石燃料
- 問13 国際協力のあり方において、政府が行う「政府開発援助（ODA）」と、貧困層の自立を促す「マイクロクレジット」の主な違いを述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. ODAは主に国家単位の経済発展やインフラ整備を支援するが、マイクロクレジットは個人の所得向上と自立を直接支援する。                      2. ODAは民間企業による投資活動を指し、マイクロクレジットは国際連合が主導する無償の食料援助を指す。                      3. ODAは技術指導が中心であるのに対し、マイクロクレジットは農産物の買い取り価格を保証することが目的である。                      4. ODAは無担保で個人に資金を貸し出すが、マイクロクレジットは政府間の条約に基づいて大規模な開発を行う。